【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | 南海高野線北野田駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成13年度（2001年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ①通勤・通学の利用が多い、あるいは商業施設の集積が高い地区で、バリアフリー化を今後とも進める必要がある地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成１３年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○将来の都市開発上緊急性が高い地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成11年度）35,486人⇒（平成30年度）33,991人  【地区特性（策定当時）】  ・北野田駅は、堺市東南部に位置し、東支所区域の商業拠点として発展した地区の駅である。  ・北野田駅周辺地区は、住宅地としての利用が主であるが、地域生活拠点として、堺市東南部の商業拠点として発展しており、近辺には大規模店舗、商店街がある地区である。  ・都市計画道路、駅前広場などの都市基盤整備に合わせて、東支所区域の商業拠点としてふさわしい魅力ある商業・業務・文化機能の充実を図るとともに魅力ある公的都市型住宅の整備を図るために、再開発事業を推進している地区である。  ・北野田駅は東支所区域、隣接市町につながる鉄道・バスターミナル結節点である。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  3.8㎞（うち、未整備区間3.4㎞） |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ・駅前の主要交差点での音響信号、エレベーターなどが設置済みである。  ○鉄道駅  ・駅構内・構外ともにエレベーター、エスカレーターが未整備である。  ・利便施設についても、障害者用便所が未整備などガイドラインからみてその機能が不十分である。  ・情報提供施設については、構内の案内板の整備などの課題がある。  ○駅前広場  ・再開発事業による再整備が課題である。  ○道路  ・地区内の道路は全般的に歩道が狭く歩きにくい。  ・再開発事業に伴う歩道整備およびそれ以外の地区での歩行空間の確保、一部区間で段差、横断幻配の改善の検討が必要である。  ・商店街での不法駐輪車両、不法駐車車両、看板などが通行の妨げとなっている。  ○信号・交差点  ・特定経路における音響信号設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討が必要である。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・平成17（2005）年　アミナス北野田（東図書館・東文化会館・商業施設）開業  ・平成17（2005）年　駅西口ペデストリアンデッキの供用開始  ・平成19（2007）年　ベルヒル北野田（東文化会館文化ホール・商業施設・マンション）開業 |